

株式会社ハローバッグ

ポジティブインパクトファイナンス評価書

2025年3月25日



大垣共立銀行とOKB総研は、株式会社ハローバッグ（以下、「同社」）に対してポジティブインパクトファイナンス（以下、「PIF」）を実施するにあたって、同社の事業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブインパクト/ネガティブインパクト）を分析・評価した。

この分析・評価は、国連環境計画金融イニシアチブ（UNEP FI）が提唱した PIF 原則および PIF 実施ガイド（モデル・フレームワーク）、ESG 金融ハイレベル・パネルにおいてポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、大垣共立銀行とOKB総研が開発した評価体系に基づいている。

目次

1. 企業概要と経営理念、サステナビリティ.....	1
(1) 株式会社ハローバッグの企業概要.....	1
(2) 株式会社ハローバッグの事業概要.....	3
(3) 経営理念	10
(4) サステナビリティ.....	12
2. インパクトの特定	14
(1) バリューチェーン分析.....	14
(2) インパクトマッピング	14
(3) インパクトレーダーによるマッピング	15
(4) 特定したインパクト.....	17
(5) インパクトニーズの確認、大垣共立銀行との方向性の確認	19
3. インパクトの評価	21
4. モニタリング.....	23
(1) 株式会社ハローバッグにおけるインパクトの管理体制	23
(2) 大垣共立銀行によるモニタリング	23

1. 企業概要と経営理念、サステナビリティ

(1) 株式会社ハローバッグの企業概要

企業名	株式会社ハローバッグ
創業	1982 年 9 月
設立	1988 年 8 月 22 日
代表者名	代表取締役 遠藤 真巳
資本金	1,000 万円
従業員	56 人 (2025 年 1 月時点)
売上高	10.2 億円 (2024 年 5 月期)
事業拠点	本社 岐阜県羽島郡笠松町円城寺 1449-1 東京営業所 東京都豊島区南大塚 3-28-9 大阪営業所 大阪府中央区南本町 1-5-7 物流倉庫 岐阜県羽島郡岐南町野中 8-30
事業内容	ペーパーバッグ製造

<本社>



<工場>



＜沿革＞

1982 年 9 月	創業（羽島郡岐南町伏屋）
1988 年 8 月	法人設立
1993 年 11 月	本社移転（羽島郡岐南町若宮地）
1993 年 12 月	製袋機（袋の正面にクワエ線が入らない日本初号機） 導入
1996 年 10 月	東京営業所開設（東京都東村山市）
1998 年 7 月	A 倍判ラミネーター 導入
2001 年 4 月	大阪営業所開設（大阪府中央区南船場）
2003 年 8 月	東京営業所移転（東京都豊島区南大塚）
2005 年 10 月	A 倍判シートカッター 導入
2009 年 9 月	印刷機：A 倍判・四六判 導入
2011 年 5 月	本社移転（羽島郡笠松町円城寺）
2013 年 4 月	太陽光発電パネル設置・発電事業開始
2018 年 6 月	A 倍判 CTP 導入
2020 年 12 月	FSC・PEFC 認証 取得
2023 年 10 月	菊判印刷機に印刷品質検査装置設置
2024 年 4 月	本紙校正用インクジェットプリンター 導入
2024 年 5 月	厚生労働省より「もにす認定」を受ける
2024 年 10 月	羽島郡笠松町のふるさと納税の返礼品に手提袋を登録
2024 年 11 月	四六判印刷機に印刷品質検査装置設置
2024 年 12 月	大阪営業所移転（大阪府中央区南本町）
2025 年 1 月	SBT 申請中

(2) 株式会社ハローバッグの事業概要

ペーパーバッグの総合メーカーとして、材質・形状・中身の保護の為の強度及びヒモに至るまで研究を重ね、企画から製造までのトータル面で顧客のニーズに応えた紙袋類、大型印刷、各種包装用品を展開している。

【主な取扱製品等】

① ラミネートバッグ

- ・表面にコーティングを施したちょっとオシャレなバッグであり、「森の再生プロジェクト」にも貢献している商品。



LAMINATED bag

ラミネートバッグは 森の再生プロジェクト

～いっしょにSDGsに取り組もう！～
に貢献している商品です

日本
中国
インドネシア

植樹目標
年間5000本

「森の再生プロジェクト」とは、
インドネシアと中国でつくられた紙を使用した製品の売上の一部を現地で活動する環境保護基金に寄付し、森林火災や違法伐採によって荒廃してしまったインドネシアの森に、自生種の苗を植えるプロジェクトです。
この取り組みは森の再生につながり、SDGsの達成に貢献しています。

LAMINATED bag

ラミネートバッグHB	ラミネートバッグS	ラミネートバッグKS
○サイズ：180×100×170mm	○サイズ：225×80×310mm	○サイズ：280×90×350mm
○ハンドル：プラスチックバンド	○ハンドル：ハビビータック	○ハンドル：ハビビータック
○表面：PP製加工	○表面：PP製加工	○表面：PP製加工
○底ボール付	○底ボール付	○底ボール付
○重量：41g	○重量：59g	○重量：98g

ラミネートバッグMS	ラミネートバッグM
○サイズ：300×110×320mm	○サイズ：300×110×440mm
○ハンドル：ハビビータック	○ハンドル：ハビビータック
○表面：PP製加工	○表面：PP製加工
○底ボール付	○底ボール付
○重量：95g	○重量：113g

紺

シルバー

赤

白

黒

②リサイクルバッグ・リサイクル宅配袋

＜リサイクルバッグ＞



＜リサイクル宅配袋＞



③クリーンバッグ（抗菌紙袋）

- ・表裏に無機系抗菌剤を塗布。抗菌効果は長期にわたり持続する。
- ・底面に疾病退散の願いを込めたアマビエマーク（同社オリジナルマーク）入り。



アマビエマーク

④オリジナルペーパーバッグ（オーダー製品）

- ・オリジナルのペーパーバッグの受注も可能。
- ・手提袋は時には範囲を留めることなく動き続ける広告になる。
- ・店や企業、イベント等の情報をインターネットとは違ったルートで広めていくことができる。
- ・オーダーメイドであり仕様においても希望のサイズで作成することができ、表面にラミネートを張ることによって高級感を帯び、水濡れに強い袋になる。

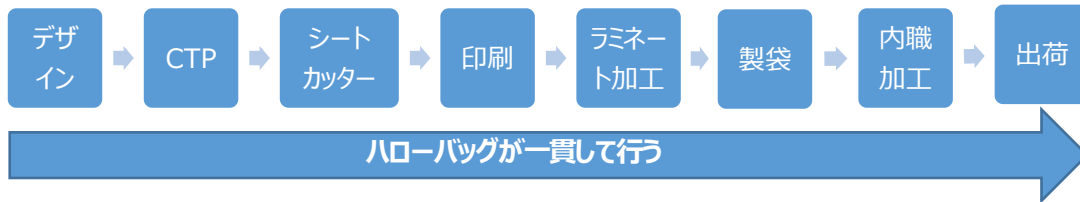


⑤大型印刷

- ・同社ではA倍判（AO）4色機、四六全判5色機を設備しており、商業印刷物の包装紙、ポスター、地図等大きいサイズの印刷が可能。また、多面付けをしてコストの削減を図ることもできる。
- ・ラミネート加工も可能で、最大サイズは1020×1300mm。



【製造工程】



①デザイン/版下作成

- ・顧客がオリジナル商品のデザインデータを入稿後、袋にするための版下製作を行う。
- ※デザインに便利な雛形（テンプレート）を用意することもできる。



②CTP

- ・CTP で製版を行う。A 倍版サイズ出力ができる。
- ・地球環境に優しい現像レスサーマル CTP プレートを使用。
- ・浅くて細かい最新の砂目構造により、水を絞った理想的な速乾印刷が可能。



③シートカッター

- ・巻原紙を印刷用平版の寸法にカットする。カット可能寸法は 280～900mm で、最大 1300mm 幅までの巻紙をカットできる。
- ・毎分 300 枚の速さでストレートカットが可能。



④印刷

- ・データをもとに袋の柄を印刷する。プロセスカラーに加え、DIC や PANTONE といった特色印刷にも対応。
- ・サイズは最大 1270×920mm、色数は 4 色～5 色まで一度に印刷することができる。



⑤ラミネート加工

- ・ラミネートを貼る。グロス PP（光沢あり）やマット PP（光沢なし）の加工を行うことによって紙の表面に高級感が出来、強度も加わる。
- ・貼面積国内最大級（910×1300mm まで可）のラミネーターであり、大きい印刷物にも対応。



⑥製袋

- ・機械で一枚の紙から袋の形へと変わる。表に折目が見つからないのが同社の特徴。
- ・正面幅は最大 500mm～最小 120mm、マチ幅（側面）は最大 250mm～最小 60mm で対応でき、広い範囲を機械で製袋することができる。自動でハンドルを付ける OFJ での製袋も可能。



⑦内職加工

- ・紐付け、底ボール入れ、ビニール被せ、ハトメ打ち等を行う。



⑧出荷

- ・ケース梱包等を行い、顧客の元へ出荷する。各種運送便にて全国発送も可。



【同社の強み】

- 2020 年 12 月に国際的な森林認証の FSC 認証/PEFC 認証（CoC（加工・流通過程））を取得した。森林認証とは、世界各地で進んでいる森林破壊問題の対策として設けられた制度であり、原則・基準を基に森林を管理し、資源の保全を図る。適切に管理された森林からの木材産出（FM 認証）を起点として、加工や流通の工程を経て製品がエンドユーザーへと届けられる。印刷、製袋、加工、流通（CoC 認証）の分野においても制度に基づいた管理が行われる。同社はこの認証を取得している。上記の工程を踏まえて製造された紙袋には、審査を経てトレードマークを適用することができる。このトレードマークは、「紙の材料」、「部材」、「加工」等において制度管理されていることの証明であり、環境保護を意識した紙袋であることを意味している。



責任ある森林管理
のマーク



- 大型の設備を多数取り揃え、デザインから出荷まで一貫して行うことができる。さらに、大型印刷にも対応可能な全国有数の平版メーカーである。

※ <設備概要> 参照

- 取引先は全国約 500 社にのぼる。エンドユーザーとの接点も確保でき、顧客ニーズを直接把握することができる。
- 小ロット・多品種・短納期が可能で、寸法・素材等顧客別ニーズに応える別注品の取扱いが 9 割を占めているため、競合他社との差別化が図られている。大手メーカーに比べ、「痒い所に手が届く」、いわゆる小回りの利くビジネスモデルが構築されている。
- 折目のない紙袋が製造できる。折目がない（くわえ線がない）分、表面の柄を綺麗に表現することができるなど、技術力に定評がある。約 30 年前に同社が初めて製造を開始したが、現在では平版メーカーでは標準のものとなっており、当社の品質向上における意識の高さが現れている。

<従来の袋>

<同社の袋>



- 環境問題の観点からビニール袋から紙袋への移行に伴う一定の需要継続が見込まれる。

<設備概要>

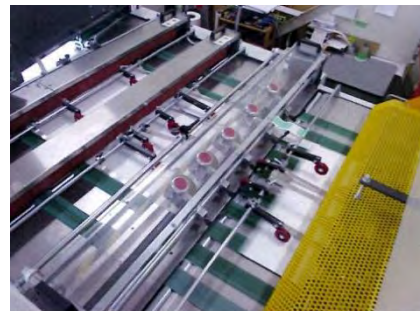
・CTP

レーザー描画通りのシャープでブレのない安定したアミ点品質が出力可能で、印刷物の品質を高めることができる。



・ラミネート

表面強度を上げるとともに耐水性も付加。貼面積国内最大級であり、大きい印刷物にも対応可。



・断裁機

最大紙巾 1350mm、最大紙長 1320 から 85mm まで断裁できる。一度に 500～600 枚ほど断裁でき、スピーディーに作業。



・ロータリーシートカッター

平判規格に依存せず様々なサイズにカット可能なため、損紙を削減することができる。光電管によるカットも可能。



・印刷

プロセスカラー（C・M・Y・K）に加え、DIC や PANTONE といった特色印刷にも対応。



・製袋機

表に折目がつかないのが同社の特徴。多種多様なサイズ・用途に対応。



【今後の展開】

- ・ 材質・形状・中身の保護の為に強度及びヒモに至るまで研究を重ね、企画から製造までのトータル面での顧客ニーズに応えた紙袋類、大型印刷、各種包装用品を展開していく。
- ・ 環境に配慮した再生紙 100%バッグや抗菌バッグ等、安心して使用できる製品を提供できるよう他社との差別化を一層強化していく。
- ・ 現状では、FSC（主：国内）と PEFC（主：海外）の認証製品は 1 割に満たない程度にとどまっている（認証に合う資材を使用することによりコストが上がるため）。しかし、オリンピックや万博等の大規模なイベントにおいては認証製品を使用することが当然になっており、今後、認証製品の受注が増加していくことが見込まれる。
- ・ 同社の売上は、関東地区と関西地区が総体の 70%を占めている。一方で、既存先約 500 社のフォローができていない状況にあるため、関東地区と関西地区の営業担当を 1 人ずつ増員しフォローすることで売上増加につなげていく。また、営業強化を念頭に、老朽化した大阪営業所を移転した。

(3) 経営理念

物が溢れる今の時代、持ち運び手段として手軽に使える紙袋。パッケージ同様、商品のイメージアップにも多大な影響を持っている。同社では、材質・形状・中身の保護の為に強度及びヒモに至るまで研究を重ね、企画から製造までのトータル面で顧客のニーズに応えている。

また、同社のオリジナル商品も、ファッションの一貫として使ってもらえるよう、より良いデザインと機能性を追求している。「人々が作り出す商品を、私たちが包んで暮らしの中へ」をモットーにハイクオリティーな製品をこれからも届けていく。

同社は以下の企業理念を基に生産活動に従事し、顧客との信頼関係の構築、維持に努めている。

【企業理念】

一、向上意識

製品の品質と生産技術の向上を心掛け、皆様が安心して使うことができる製品をお届けできるように努力してまいります

一、社会貢献

法令を遵守すると共に、地球環境の保全を意識して事業の展開を行ってまいります

一、自己成長

社員個々の技能、人間性の成長を基礎とし、見識豊かな人材の育成に取り組んでまいります

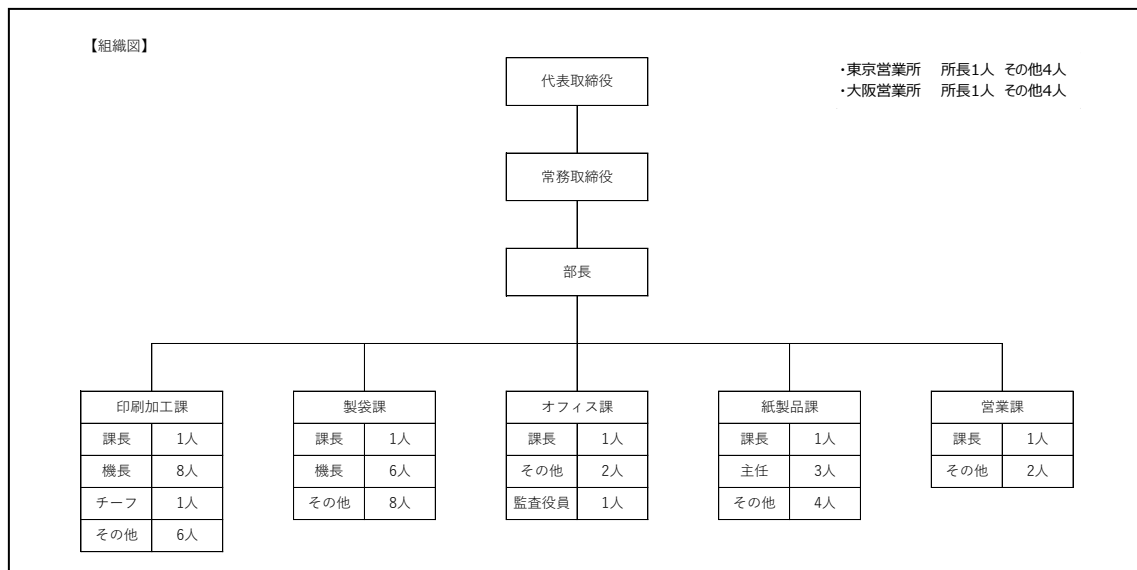


さらに、従業員ひとりが社会から信頼される行動を実践すべく社員行動指針を制定した。

【社員行動指針】

1. 社会の一員として法令を遵守し、良識のある行動をします
2. 常に健康に留意し、明るく元気よくスピーディーな姿勢で就業することに努めます
3. 常に上司同僚互いに助け合い、職務は責任をもって正確、迅速に行うとともに、必要事項は、報告・連絡・相談します
4. 常に 5S（整理・整頓・清潔・清掃・躰）に留意して業務を行います
5. 常に効率的に仕事をこなすように心掛けて、「カイゼン」点を見つけたときは、積極的に提案するように努めます
6. 勤務時間中は陰日向なく業務に専念し、業務以外の目的でみだりに職場を離れたり、私的なことはしません
7. 許可なく会社の金銭、帳票、商品、製品、車両、備品、消耗品、資料、図面、データ等を所定の場所から社外に持ち出したり、持ち帰ったりしません
8. 会社の施設、機械器具、車両、その他の備品及び原料、材料、消耗品等の使用、保管、引継ぎについて厳重に行います
9. 職場の安全衛生に関する規則、又は指示を守り、災害、傷害、その他の事故防止に万全を期すことに努めます
10. 業務上知り得た情報は適切に管理し、機密情報を第三者に漏えいしたり、業務以外の目的に使用しません
11. 事由の如何を問わず、差別や嫌がらせをしません
12. 積極的に品質・安全性あるいは環境保護・保全に取り組みます

【組織体制】



(4) サステナビリティ

同社は SDG s 宣言を定め、これを指針として課題に取り組んでいる。

「SDG s 宣言」

地球温暖化への取組

国際的な森林認証の FSC、PEFC を取得

持続可能な森林資源の積極的な利用を進めてまいります

環境に配慮した製品・サービスの提供

再生紙や環境に配慮した資材で製造を行い、安心して使用できる商品をご提供致します

働きがいのある仕事

多様な人材が能力と個性を活かし、全社員が働きがいを持てる職場環境づくりを進めてまいります

それぞれの重点項目(マテリアリティ)において、具体的には以下のような取り組みを行っている。

① 地球温暖化への取組

- 森林認証である FSC 認証 / PEFC 認証 (CoC (加工・流通過程)) を取得
(毎年 6 月更新)
「紙の原料」、「部材」、「加工」等において環境保護を意識している
- SBT※水準の削減目標を 2022 年に設定、2030 年までに排出量削減目標を達成する
※パリ協定が定める水準と整合した、企業が設定する温室効果ガス排出削減目標
- 自社保有車両の EV・ハイブリッド化を進める



② 環境に配慮した製品・サービスの提供

- 「Sublima コンテスト」(日本アグファ・ゲバルトが主催する印刷コンテスト)
に出品した「環境配慮型古紙 100%紙袋」が販促・PR 部門において社長
賞を受賞。原紙・紐に古紙を利用し環境保護に取り組む
- 古紙配合率 100%の材料を使用した環境に優しいリサイクルバッグや表裏
に無機系抗菌剤を塗布したクリーンバッグを提供

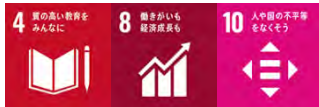


<Sublima コンテスト>



③ 働きがいのある仕事

- ・ 障がい者の雇用は現在 5 人
障がい者雇用の優良事業者を厚生労働省が認定する「もにす」の認定を受けている
- ・ 現場社員にはフォークリフト免許の取得を義務化し、定期的に安全講習会を実施
- ・ 安全衛生推進者の資格取得を推奨
- ・ 退職金制度（養老保険）、リゾート施設利用、就業以外でも怪我の補償あり



④ その他（SDGs 宣言以外）

- ・ LED 照明の導入
環境問題への取組みの一環として本社社屋に LED 照明を導入



- ・ 太陽光発電の導入
環境問題への取組みの一環として工場社屋に太陽光発電を設置
2024 年 年間受給電力量：191610kWh



- ・ 特別支援学校生徒の見学・実務体験
- ・ 近隣障がい者施設への労務提供
30 年ほど前から、持ち手の取り付けなどの簡易作業を委託（現在、約 30 先）

2. インパクトの特定

(1) バリューチェーン分析

- 同社は、紙袋の総合メーカーであり、原紙カット→印刷→製袋→加工までの一貫生産が可能である。古紙配合率 100%の材料を使用したりサイクルバッグ、無機系抗菌剤を塗布したクリーンバッグ、表面にコーティングを施したラミネートバッグ等多種多様な製造・加工が可能であり、多様化する顧客のニーズに対応できることが強みである。同社のエンドユーザーは、大手百貨店や、テーマパーク、地公体など全国約 500 社にのぼり、信用力もあることから安定的な需要が見込まれる。
- 小ロット・多品種・短納期が可能で、寸法・素材等顧客別ニーズに応える別注品の取扱いが 9 割を占めているため、競合他社との差別化が図られている。



(2) インパクトマッピング

- 大垣共立銀行は、先述のバリューチェーン分析の結果をもとに、インパクトマッピングを実施する。
- 同社の事業を、「段ボール及び板紙並びに紙製・板紙製容器製造業（国際標準産業分類：1702）」とする。
- 川上の事業を、「パルプ、紙及び板紙製造業（同：1701）」、「プラスチック製品製造業（同：2220）」とする。
- 川下の事業は、幅広い事業者が対象となるため、インパクトの特定は行わない。
- 以上の事業について、UNEP FI が提供するインパクトレーダーを用いて「ポジティブインパクト（以下 PI）」と「ネガティブインパクト（以下 NI）」を想定する。

(3) インパクトレーダーによるマッピング

バリューチェーン	川上の事業				同社の事業	
	パルプ、紙及び板紙製造業 (1701)		プラスチック製品製造業 (2220)		段ボール及び板紙並びに 紙製・板紙製容器製造業 (1702)	
インパクト	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
水						
食料						
住居						
健康・衛生	●			●		
教育	●					
雇用	●	●	●	●	●	●
エネルギー						
移動手段						
情報						
文化・伝統	●					
人格と人の安全保障						
正義						
強固な制度・平和・安定						
水（質）		●●		●●		●●
大気		●		●		●
土壌				●●		
生物多様性と生態系サービス						
資源効率・安全性		●		●		●
気候		●		●		●
廃棄物		●●		●●		●●
包括的で健全な経済	●		●		●	
経済収束						

「●●」は重要な影響があるカテゴリを示す

「●」は影響があるカテゴリを示す

発現したインパクトについて、同社の事業について、カテゴリ毎の対応する SDGs ターゲットを整理する。

	カテゴリ	インパクト	PI NI		取組内容	対応するSDGs
			PI	NI		
川上	環境	資源効率・安全性		○	国際的な森林認証のFSC認証/PEFC認証を取得し、環境保護に取り組んでいる。	15.1
同社	社会	雇用	○	○	「もにす認定制度」の認定を受けるなど、障がい者雇用や、障がい者就労施設への労働提供を積極的に行っている。 従業員に対しては、「フォークリフト免許」、「安全衛生管理者」など、業務に必要なスキルの資格取得支援を行っている。 傷害保険の保険料全額負担、禁煙手当の支給など、健康で安心して働ける環境を構築している。 勤怠システムの導入など、IT化による働きやすい職場環境を構築している。	4.5 8.5 8.8
	環境	資源効率・安全性		○	古紙配合率100%の材料を使用した紙袋を製造している。 「森の再生プロジェクト」に参加し、売上の一部をインドネシアの環境保護団体へ寄付している。	15.2
		気候		○	中小企業版SBTの認証を申請中で、営業車のハイブリッド車への買い替え、フォークリフトの電動化、省エネ設備への更新、太陽光発電の自社消費、コンプレッサー大型化等によりCO2削減を図っていく。	7.2 13.2
		廃棄物		○	製造工程の省人化に取り組み、製品の廃棄率削減に取り組んでいる。	12.5
	経済	包括的で健全な経済	○		全国でも数少ない印刷機を保有し、顧客ニーズに応えることができる。デザインから出荷まで一貫して行うことができるため、全国約500先以上の取引先を持つ。 関東地区と関西地区の営業担当を増員し、売上増加を図る。	9.2

※インパクトレーダーで発現したインパクトのうち、上記表に不記載のインパクトは、同社の事業と関連性が低いため、評価対象外とした。

(4) 特定したインパクト

以上を踏まえて、同社のインパクトをESG（環境・社会・ガバナンス）毎に特定した。

環境（Environment）

CO2 削減に向けた取組の推進

- 同社は、企業理念に掲げる「地球環境の保全を意識した事業展開」に基づき、環境対策に積極的に取り組んでいる。
- 業界的にCO2 排出量削減に対しては対応を強く求められていないが、中小企業版 SBT 認定を申請し、省エネ設備更新、工場の LED への切り替え、自社保有車両のハイブリッド車等への買い替え、太陽光発電の設置（※売電用は保有）などに取り組んでいく方針である。
- このインパクトは「気候」のカテゴリに該当し、環境面の NI を縮小すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
 - 7.2：2030 年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。
 - 13.2：気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む。

品質が高く環境に配慮した紙袋の提供

- 同社は、30 年以上大型の設備を多数取り揃え、デザインから出荷まで一貫して行うことができる。さらに、大型印刷にも対応することができ、小ロットから短納期で対応できる全国有数の平版メーカーとして、全国に 500 社以上の取引先を持つ。
- 同社の技術力は高く、「折り目によって表面のデザインが崩れる」といった紙袋の課題を解消する技術を開発した実績がある。また、長年同事業に携わっていることから、エンドユーザーとの接点も確保でき、直接顧客ニーズを把握し、商品に反映させている。「紙袋」は、エンドユーザーが提供する商品の魅力を引き立て、ブランドイメージを高めるための重要なツールであり、同社の高い技術力、デザイン力を武器に取引先との更なる取引量増加や販売エリア拡大をしていく方針である。
- 「紙袋」は、プラスチック袋に比べて環境負荷が低いため、環境意識の高まりやプラスチックごみ削減の動きを受け、その需要は高まっている。
- 同社は、2020 年 12 月に国際的な森林認証の FSC 認証/PEFC 認証（CoC（加工・流通過程））を取得し、適切に管理された森林から伐採された木材を原料としている。また、再生紙 100%の紙袋の製造、「森の再生プロジェクト」への参加等、「紙」という資源を使用する企業として、積極的に環境保全に取り組んでいる。
- このインパクトは「資源効率・安全性」、「包括的で健全な経済」のカテゴリに該当し、環境面の NI を縮小、経済面の PI を拡大すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
 - 9.2：包括的かつ持続可能な産業化を促進し、2030 年までに各国の状況に応じて雇用及び GDP に占める産業セクターの割合を大幅に増加させる。後発開発途上国については同割合を倍増させる。
 - 15.1：国際協定の下での義務に則って、森林、湿地、山地及び乾燥地をはじめとする陸域生態系と内陸淡水生態系及びそれらのサービスの保全、回復及び持続可能な利用を確保する。

15.2：あらゆる種類の森林の持続可能な経営の実施を促進し、森林減少を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で新規植林及び再植林を大幅に増加させる。

社会（Social）

働きやすい職場環境の提供

- 同社は、従業員に対する業務上必要な資格（フォークリフト免許、安全衛生推進者など）の取得支援を実施しており、人材育成に注力している。
- 福利厚生面においては、退職金制度（養老保険）、リゾート施設利用、傷害保険の全額負担、インフルエンザ予防接種費用の一部負担、禁煙手当の支給など、健康で働きやすい環境を構築している。今後は有休取得率の向上に取り組み、健康経営優良法人の認定取得も検討していく。
- 一方で、営業エリア拡大による受注増加や、印刷機更新に伴う若手従業員の技術習得等の影響もあり残業が増加傾向にあるため、今後はより一層の作業効率化や、人員配置の見直しを行っていく方針である。
- このインパクトは「雇用」のカテゴリに該当し、社会面のPIを拡大、NIを縮小すると考えられる。
- SDGsでは、以下のターゲットに該当すると考えられる。

8.5：2030年までに、若者や障がい者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。

8.8：移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、全ての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。

企業統治（Governance）

安心・安全な職場環境の提供

- 印刷作業工程において化学物質を使用するため、換気が不十分な場合は、従業員の健康リスクが高まる可能性がある。
- 同社は、「安全衛生推進者」や「有機溶剤作業主任者」の配置、化学物質を使用する洗浄剤の使用制限、換気の徹底等、従業員が安心して働ける職場環境を整備している。
- このインパクトは「雇用」のカテゴリに該当し、社会面のNIを縮小すると考えられる。

8.8：移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、全ての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。

(5) インパクトニーズの確認、大垣共立銀行との方向性の確認

①国内におけるインパクトニーズ

- 国内における「SDGs インデックス&ダッシュボード」を参照し、国内のインパクトニーズと同社のインパクトを確認する。
- 上記工程を経て特定した、同社のインパクトに対する SDGs は、「7. すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する」、「8. すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する」、「9. 強靭なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の推進およびイノベーションの推進を図る」、「13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる」、「15. 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する」に対して、国内における SDGs ダッシュボードでは、「13、15」において重大な課題が残る、「7、8」において、課題が残るまたは重要な課題が残るとなっており、国内のインパクトニーズと同社のインパクトが一定の関係性があることを確認した。



②岐阜県におけるインパクトニーズ

- 岐阜県における「SDGs 未来都市計画」を参照し、岐阜県における SDGs 達成に向けての課題を確認した。

岐阜県 SDGs 未来都市計画 –SDGs の推進に資する取組（抜粋）–
○環境保全の推進 ○持続可能な「清流の国ぎふ」ブランドの確立 ○県内産業の活力の強化 ○新事業展開の促進 ○誰もがともに活躍できる共創社会の実現

③大垣共立銀行が認識する社会課題との整合性

- 大垣共立銀行は、「サステナビリティ基本方針」において「地域経済の持続的成長」「地域のイノベーション支援」「多様な人材の活躍推進」「気候変動対応、環境保全」「地域資源の活用」「コーポレートガバナンスの高度化」の6つを重点課題（マテリアリティ）としている。

同社の特定したインパクト	大垣共立銀行の重要課題（マテリアリティ）
CO2 削減に向けた取組の推進	気候変動対応、環境保全
品質が高く環境に配慮した紙袋の提供	気候変動対応、環境保全 地域経済の持続的成長
働きやすい職場環境の提供 安心・安全な職場環境の提供	多様な人材の活躍推進 コーポレートガバナンスの高度化

以上のように、大垣共立銀行は本件の取組みが、SDGs の達成および貢献に向けた資金需要と資金供給とのギャップを埋めることにつながることを目指している。

3. インパクトの評価

ここでは、特定したインパクトの発現状況を今後も測定可能なものにするため、PI の拡大、NI の緩和・管理が適切になされるかを評価し、特定したインパクトに対し、それぞれに KPI を設定する

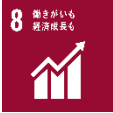
CO2 削減に向けた取組の推進

項目	内容
インパクトの種類	環境的側面において NI を縮小
カテゴリ	「気候」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	・LED や省エネ設備導入、自社保有車の環境対応車への切り替え等により、カーボンニュートラルに向けた取り組みを推進する
KPI	・2023 年度を基準として、2030 年度までに CO2 排出量を 42%削減する (2023 年度実績：280.6t-CO2) ・2026 年度までに工場の LED 導入率を 100%にする (2023 年度実績：0%)

品質が高く環境に配慮した紙袋の提供

項目	内容
インパクトの種類	環境的側面において NI を縮小 経済的側面において PI を拡大
カテゴリ	「資源効率・安全性」「包括的で健全な経済」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	・プラスチック袋に比べて環境負荷が小さい紙袋について、デザイン性の高い製品や、再生紙 100%使用製品など、技術を活かして品質面・環境面の顧客満足向上に繋がる製品を一層拡大する ・FSC 認証/PEFC 認証 (CoC (加工・流通過程)) (※) を維持し、製品の原料として適切に管理された森林から伐採された木材の利用を継続する ※FM (森林管理) 認証された森林から産出された林産物の適切な加工・流通に対する認証
KPI	・2030 年度までに売上高を 13 億円以上にする (2023 年度実績：10 億円)

安心安全で働きやすい職場環境の提供

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面において NI を縮小
カテゴリ	「雇用」
関連する SDGs	
内容・対応方針	・新たな制度休暇を制定し有給休暇を取得しやすい環境を構築するなどワーク・ライフ・バランスを推進し、積極的に健康経営に取り組む ・安全衛生管理を強化し、労働環境の改善や従業員の健康リスクの低減に努める
KPI	・従業員の年間平均有給休暇取得率を、2027 年（1 月～12 月）までに 50% 以上、2030 年までに 70%以上にする （2024 年実績：35.7%） ・2030 年度までに安全衛生推進者の資格保有者を 3 名以上にする （2023 年度実績：1 名）

4. モニタリング

(1) 株式会社ハローバグにおけるインパクトの管理体制

- 同社では、遠藤社長を中心に、本 PIF におけるインパクトの特定並びに KPI の策定を行った。
- 今後については、本件にかかる責任者を遠藤社長とし、SDGs の推進、並びに、本 PIF で策定した KPI の管理を行っていく方針である。

(2) 大垣共立銀行によるモニタリング

- 本 PIF で設定した KPI および進捗状況については、同社と大垣共立銀行の担当者が定期的な場を設けて情報共有する。少なくとも年に 1 回実施するほか、日々の情報交換や営業活動を通じて実施する。

【留意事項】

1. 本評価書の内容は、大垣共立銀行とOKB総研が現時点で入手可能な公開情報、同社から提供された情報や同社へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、将来における実現可能性、ポジティブな成果等を保証するものではありません。
2. 大垣共立銀行、およびOKB総研が本評価に際して用いた情報は、大垣共立銀行およびOKB総研がその裁量により信頼できると判断したものではあるものの、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、および特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明または保証をするものではありません。
3. 本評価書に関する一切の権利はOKB総研に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳及び翻案等を含みます）、または使用する目的で保管することは禁止されています。